

# 議案等を原案どおり可決

## 市議会 第3回定例会

9月2日(木)に開会した令和3年八幡市議会第3回定例会は、市が提出した議案等をすべて認定・可決・同意し、10月13日(水)に閉会しました。

# 令和2年度の決算状況

令和2年度一般会計等の決算状況をお知らせします。決算は、市議会第3回定例会開会中に設置された決算特別委員会で審査され、10月13日(水)に認定されました。

### 一般会計

令和2年度は新型コロナウイルス対策に伴う国の交付金などにより、歳入の依存財源の割合や、歳入歳出の決算額が前年度より大き

くなっています。一般会計決算額は、歳入374億3,352万9千円、歳出364億3,381万1千円(前年比39・7%増)、歳出364億3,381万1千円(前年比38・7%増)です。歳入歳出差引総額は10億2,971万

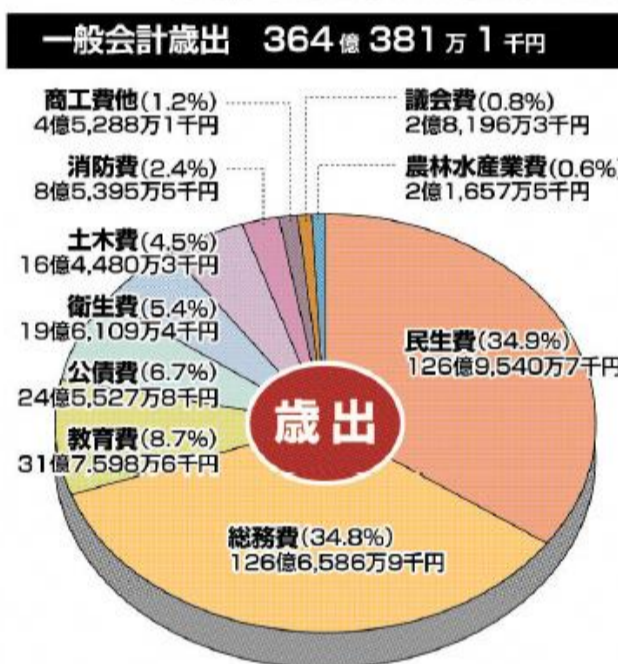
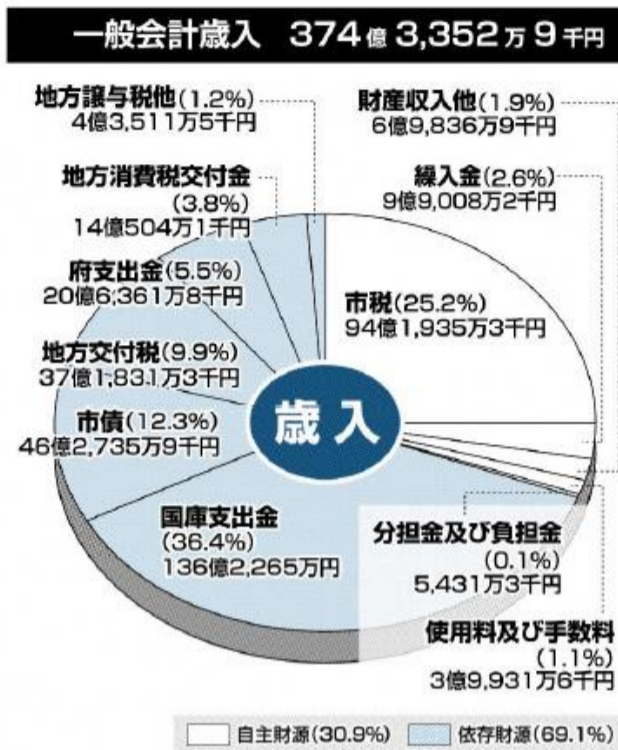
8千円で、翌年度に繰越すべき財源1億4,671万4千円を差し引いた実質収支額は8億8,300万4千円となりました。

### 決算の概要

歳入は、前年度と比較して市税が5億9,598万2千円、諸収入が2億1,795万2千円減少するなど、総務費が95億9,369万5千円、教育費が10億1,266万8千円増加するなど、歳出全体で101億5,905万6千円増加しました。

### 特別会計

特別会計の決算状況は、表のとおりで、実質収支をいづれも赤字で決算することができました。 ※水道事業会計・下水道事業会計の決算状況の詳細は、上下水道広報紙「やわたの上下水道」(令和4年1月発行予定)でお知らせします。



会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引
一般会計	374億3,352万9千円	364億3,381万1千円	10億2,971万8千円
特別会計			
休日応急診療所	2,226万1千円	2,216万7千円	9万4千円
駐車場	749万4千円	634万2千円	115万2千円
国民健康保険	73億8,236万3千円	72億6,593万円	1億1,643万3千円
介護保険	58億1,208万2千円	56億8,199万7千円	1億3,008万5千円
後期高齢者医療	20億3,984万1千円	20億881万9千円	3,102万2千円
計	526億9,757万円	513億8,906万6千円	13億850万4千円

## どーも 市長の堀口です

22年前の平成11年8月に法的に「君が代」が国歌とされました。その成立については、大枠としては明治2年に当時の日本に国歌がないことから、大山巖(後に陸軍元帥)らが薩摩琵琶歌から「蓬萊山」の「君が代は…」を選び、イギリス軍の軍楽隊長のフェントンが作曲したのが始まりとされています。

そして、この君が代の元歌は平安時代に醍醐天皇の命で紀貫之らが編集した「古今和歌集」の巻七賀歌先頭にある「題しらず」「詠

人しらず」とされている「わが君は…」の和歌とされています。「奪われた国歌『君が代』」(古田武彦著)では、有名な金印の出た志賀島にある志賀神社の「山ほめ祭」の中で「君が代」が台詞としてあること、「君が代」の歌詞は博多湾岸の地名群を歌っている、即ち「千代」の松原、細石神社、桜谷若宮神社の祭神は菅牟須売神であることなどが九州王朝説とともに述べられています。

11月1日は「本の日」、9日までは読書週間です。コロナ禍ではありますが、一度国歌について考えてみてはいかがでしょうか。

## 令和2年度の主な事業

- ◆新庁舎整備事業
  - ◆日本に住む外国人への「くらしのそらだん事例集」の作成
  - ◆男女共同参画プラン ーぶ計画Ⅲの策定
  - ◆空中茶室「閑雲軒」のVR制作
  - ◆高齢者健康福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定
  - ◆第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の策定
  - ◆空家等対策計画の策定
  - ◆立地適正化計画の策定
  - ◆さくら近隣公園の雲梯や子ども動物園等の整備
  - ◆八幡市防災アプリの導入
  - ◆GIGAスクール構想整備事業
  - ◆学校施設長寿命化計画の策定
  - ◆男山中学校と男山東中学校の屋内運動場等に空調設備を整備
- 新型コロナウイルス感染症対策**
- ◆特別定額給付金給付
  - ◆新生児に対する給付
  - ◆児童手当や児童扶養手当等受給者および準要保護認定者への臨時給付
  - ◆公共交通事業者や農業者等への支援
  - ◆八幡おうえん飲食券事業
  - ◆水道料金4カ月分減免
  - ◆京都府の休業要請に協力した事業者へ臨時給付
  - ◆中小企業者等おうえん給付金

問財政課 (☎983-1697)

## 財政状況

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、

今後の増収が見込めない状況です。さらに、社会保障関係経費の増大をはじめ、公

共用施設の老朽化対策、新庁舎整備費用の負担格化などによる歳出の増加が見込まれること

から、既存事業の見直し等により、今後も持続可能な財政運営に努めていきます。



本市に存在する、またはこれから生まれる特産品(菓子・加工品などの食品や工芸品等)をやわたブランド「ヤワタカラ」として認定し、八幡の歴史や文化、自然環境と結びつけて地域の魅力とともに発信する「やわたブランド創造事業」に取り組んでいます。

やわたブランド

# ヤワタカラ

ロゴマーク決まる

この度、これらの特産品のPRに使用する「ヤワタカラ」のロゴマーク画像が決定しました。このロゴマークは認定品に貼付したり、チラシ・ポスター等さまざまな機会に使用します。今後は「ヤワタカラ」の認定品を募集します。詳細は決まり次第、広報やわたや市ホームページなどでお知らせいたします。 問商工観光課 (☎983-2853)